



B.F.C 軽可搬ポンプ操法練習 共助・公助の精神をもって

じりじりと肌が焦げそうな日差しの下、夏休みの間も生徒の皆さんはB.F.C.活動がんばりました。B.F.C.活動の中には命を守る活動として、島内外の方々に防火・防災の意識を高めてもらうための啓発活動があります。相島B.F.C.は軽可搬ポンプ操法を披露することで、防火・防災の啓発を行っています。2学期は、相島区秋季大運動会やまつり新宮での披露、中学校文化連盟発表会で動画による披露をしたいと思っています。そのため夏休みに、16日間練習を行いました。初めは1人1人が動きを覚えるのに精いっぱい動きもバラバラだったものが、次第に揃い、小さかった声もだんだんと自信溢れるものになってきました。また、卒業生や上級生が下級生に教えたり、水上分団の方が指導しに来てくださったりするなど、76年間引き継がれてきたB.F.C.の伝統を感じることができました。受け身だった1年生も今では、自分たちで「こうしたらいいんじゃない?こんなふうに練習してみよう!」と、自分たちで積極的に練習に参加しています。また、2、3年生も1年生の指導に慣れ、お互いに確認しながら積極的に取り組むことができ、取り組む姿勢や表情も変わり、成長を感じます。中隊長の郁斗さんは「計画や準備、片付けなど練習をしてみると思っていたより大変でした。最初はあいさつやかけ声も小さかったけれど、練習するにつれて日に日に声も大きくなっていき、70%くらいの仕上がりになっていると思います。個人の動きは大体できてきているけれど、全員の動きをそろえること、もったきびきび動くこと、張りのあるかけ声などこれからもっと揃えて完成度を上げていきたいです。運動会では島の方々が見に来られるのでハードルが高いけれど、いい意味で期待を裏切るような想像以上の出来になるように練習していきたいです!」と夏休みの成長を振り返り、これからの目標を掲げていました。



自分たちで相談しながら動きを揃えていきます。

卒業生が来てくれました。ありがとうございます

水上分団の方々、暑い中ご指導ありがとうございました。

全体ミーティング自分たちで課題を見つけます

暑い中、力を合わせてよくがんばりました

新体制で部活動も頑張っています

夏休みのB.F.C.訓練の後は部活動で体と心を鍛えました。



1, 2年生の新体制でがんばっています。新体制になり、「凡事徹底」というスローガンを掲げ、「あたりまえのことをあたりまえに」できる部活動を目標にしました。一人一人がそれに近づくために個人目標を決め、技術だけでなくあいさつなどの礼儀の面でも成長できるよう取り組んでいます。8月17日(土)には、九州産業大学の大学生との合同練習を行い、打ち方などのアドバイスを受けることができました。今後の練習にしっかりと生かしていきたいです。部長の瑞希さんは夏休みの練習を振り返って「1, 2年生の新体制になって最初は慣れない感じだったけれど、技術も礼儀(あいさつや返事など)の面もちゃんとできるようになってきて、みんな上手になっていると思います。新人戦に向けて不安なこともあると思うけれど、みんなで心を1つにして頑張りたいです。」と意気込みを話してくれました。



九州産業大学の大学生との合同練習

Shingu ふくしトーク

～こんな街になったらいいな～

新宮町社会福祉協議会で「第5次地域福祉活動計画」の策定に向けて、日々の暮らしや地域福祉活動を通して感じていることや考えていることなどの意見を、計画に反映させることを目的として、これからを担う中学生にも意見を聞き、いろいろな立場の方々とともにどのようなまちづくりをしていったらよいかを話し合う「ふくしトーク」が行われました。相島分校からは3年生の齋藤妃那さん、前田優月さん、2年生の水津栞さんの3人が参加し、新宮町に住む大人の方々と一緒にグループごとに分かれ、意見交流を行いました。3人とも初めは緊張していた様子でしたが、テーマについて真剣に考え、漁村留学生として相島に通っている立場から、相島の方々の暮らしを考えた意見を笑顔で目をキラキラさせながら、積極的に述べ、新宮町の将来について意欲的に話し合っていました。この話し合いがきっとこれからよりよい新宮町づくりに生かされていくことと思います。3人は「(活動が)楽しかった。」「いい経験でした。」と感想をもっていました。新宮町の未来は明るいですね!!



将来の新宮町について真剣に考えています

グループトークでいろいろな方々の考えを知ることができました!

ほっとした笑顔で3人でハイ、パチリ!

